

あとひと月で夏休みと言う所まで来てしまいました。

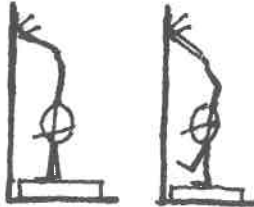
月日が経つのは早いですね。しかし、子どもたちの育ちを観ておられますとこれ迄の3ヶ月の間の園生活を通して、一人ひとり確かな育ちを見せておられます。この育ちは一日一日を積み重ねたものです。残りのひと月もとても大切です。お休みしないように体調をととのえてあげてください♡

■この時期 子どもたち自分が目指す目標に「やる気」即ち「意欲」をこれまで以上に上げて来て、その結果を正直に出してきました。

例えば年少組の廊下です。自由あそびの時間にはマットを敷き壁が立ち汗を流す小さい体が次から次へです。壁に足が付くまで、足が付いても数えて30・40・50…と。

その次は「手ぶみ」へと挑戦します。ある程度出来ると「横あるき」に挑戦します。

年少組の廊下は、これからさか立ち名人の予備軍が次から次へと出てきておられます。



年中組さんのようすもお届けします。近い内に…。

■親子遠足無事行事が出来ました。ご協力ありがとうございました。

子どもたちにとってはママと一緒に楽しい一日でした。

前半の園内見学では、ママと離れておとどちと一緒に大きな象さん、鶴をあげていた年少のおとどち。泣き虫さん居ませんでは♡



■来週の27日(木)は内科の検診日です。おがけ先生クリニック。お願いして全園児が対象です。

■28日(金)はお弁当の日です♡いっせり更に楽しいひとときにしてあげたいのでママさんたちハリキッテ!!♡♡♡

おっと! 忘れるところでした!! 26日(木)おたんぽう会で午前保育です。

抱きしめてあげて!

(心の育ちシリーズ)

姿が見えないとお母さん	ちょっと痛くとお母さん
おなかがすくとお母さん	少の熱で忘れぬして
何かを探すとお母さん	お母さん お母さん
つたくなるとねえお母さん	迷いがあると、ちょっとお母さん
いくつになっても時々んだね、母親を…。	

坂本 光男 作詩

子どもにとって母親ほどのものはないですね。一緒に居る衣食をこのえてあげる。対話をする、支える、苦痛の時手をさしあげてあげる…と言ふ事など、どれも普通の事です。でも、その母親の手づくりの行為が、全て愛なのです。

だから子どもは「お母さん、お母さん!」と呼び続ける。安心と信頼がそこに、ただい、人のぬくもりが伝わって行くからに違いありません。

お金と品物では愛は伝わりません。子どもは生きてる人間です。だから親は生きてる姿として、子どもを育てることが大切です。

元気のない時に抱きしめてあげる。精いっぱい頑張った時に抱きしめてあげる。嬉しい時に抱きしめてあげる。そして、悲しい時、つらい時があった時…。

母親の愛として、これほどのものはありません。子どもの心を全身で受け止めてあげるのだから、乳幼児はもちろん、小学生、中学生、高校生になっても母親のそれは価値のあることです。

『手づくりの子育てをしましょ。
お金や品物では愛は伝わりません』